

た よ り

新潟県生活文化研究会会員の皆様お変わりございませんでしょうか。昨年度は皆様にご尽力をいただき、会誌「新潟の生活文化」No.19を発行することができました。重ねて御礼申し上げます。会誌発行にあたって、年次大会の開催と“たより”の発行をお約束いたしました。

最近目にとまったことは、8月14日の朝日新聞に「韓国男子は『お肌』が命」という見出しで、スキンケア市場、世界最大という記事でした。男性スキンケア製品、2012年の国別売上額が5億6500万ドルで第1位、男性1人当たりでも11.3ドルでトップというものです。日本は、2億6200万ドルで第3位、男性1人当たり2.1ドルで第6位です。女性を含めたスキンケア製品全体では、1人当たりの金額のトップは日本の152.3ドルで、韓国は79.5ドルで第4位と書かれていました。

もう一つは、同日の某テレビ局の朝のワイドショーで、「小学生から紳士まで日傘急増」と銘打って、男性の日傘使用を取り上げていました。日傘をさした場合の頭部周辺の温度を測定することで効用を謳っており、使用することに対してインタビューをしていました。多くの男性は、“恥ずかしくない”と答えていましたが、女性の反応はいささか冷ややかでした。男性の日傘使用に多少嫌悪感を持つ人もあり、その分岐点は年齢であるということでした。その年齢は40歳で、若い男性は日焼けしている方が遅しく見えると考えられているのかもしれませんが。

さしずめ65歳の私は恥ずかしがらずに使用すればよいということでしょうか。そういうことではないのでしょうか。誰か仕掛け人がいて、男性用日傘を企画販売した人たちがいたのだろうか。でも私の脳裏をよぎるのは、ひょっとして生物が気候変動から身を守る無意識の行動ではないのかと。夏に限れば日本は、完全に亜熱帯気候と同じ状態になったようだと言う人もいます。1972年ローマ・クラブから出された『成長の限界』から40年経過しても、持続可能な将来が見えていないようです。環境問題を自分自身の問題として本当に考えるためにも、新潟というキーワードを基に文化的活動の拠点としての本研究会の役割は大きいと考えます。

さて年次大会のことですが、総会およびポスターによる研究発表会を以下のように計画してみました。10月26日、27日は、新潟県立大学の大学祭も開催されておりますので、是非ご見学かたがたお出でくださればありがたく存じます。

平成25年10月26日（土） 新潟県立大学2号館3階 2309講義室

13時～ 総会

14時～ ポスター発表

ポスター発表につきましては、郵便あるいはメールにて9月30日（月）までに申し込み下さい。

申込み先 〒950-0806 新潟市東区海老ヶ瀬471 新潟県立大学
新潟県生活文化研究会 佐々木博昭宛
メール: sasaki@unii.ac.jp

なお総会当日ご出席不可能な方につきましては、恐れ入りますが委任状を提出いただきますようお願い申し上げます。

また、年会費(3,500円)につきましては振込用紙を同封いたしましたのでよろしくをお願いいたします。

振込先 口座記号 口座番号 00640-8- 2252

加入者名 新潟県生活文化研究会

恐縮ではございますが、振込手数料はご負担下さいますようお願い申し上げます。直接納入いただく場合は佐々木までご連絡下さい。ご不明な点がございましたら、お手数でも佐々木までお問い合わせ下さい。

私は、最近「同じ状態を維持していくことは難しいけれど、立ち上げるときはもっと大変」と言っております。ローンを組んで購入した自宅もそうですが、企業、その他様々な組織でも、「立ち上げ」「維持」「止める」、それぞれのエネルギーを考えてみていただきたいのです。研究会の存続のため、会員の皆様からご尽力賜りますようお願い申し上げます。

平成25年9月18日

新潟県生活文化研究会会長
佐々木 博昭